



2013-2014年度



2013年10月17日発行 Vol. 1370

クラブ運営方針：愛と感謝と奉仕の心

# 広島北 ロータリークラブ週報

国際ロータリー会長 ロン D. パートン 氏  
国際ロータリーテーマ  
ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を  
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

■会長 庄子 佳良 ■幹事 久保 豊年  
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530  
E-Mail: hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/  
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会 2013年10月17日(木) 第2153回  
ロータリーソング 「手に手つないで」  
来客紹介 ローラー家族親睦委員会  
地区大会個人表彰  
会長時間  
幹事報告  
委員会報告等  
ニコニコ箱  
卓話時間 『大学発ベンチャー企業のご紹介』  
神奈川歯科大学  
教授 河田 俊嗣 様

## 永年出席表彰



連続出席20年の山田誠一会員には、クラブから記念品が贈られました。これからも健康に留意され、連続出席を続けてください。

## 前回例報告 2013年10月10日(木) 第2152回

ロータリーソング 「われらの生業」  
来客紹介 ローラー家族親睦委員会  
地区大会表彰披露  
連続出席表彰  
会長時間  
幹事報告  
委員会報告  
ニコニコ箱  
卓話時間 『これからのロータリーの職業奉仕のあり方について』  
パストガバナー 岩森 茂 会員

## 地区大会表彰(クラブ表彰)



2012-13年度RI会長賞を頂きました。



## 連続出席表彰



高原会員6年

渡部会員2年、山村会員3年、山田会員20年

## 会長時間

会長 庄子 佳良

本日の卓話の時間には、職業奉仕委員会の担当で「これからのロータリーの職業奉仕のあり方について」という演題で勉強させていただきました。中尾委員長よりお願い申し上げます。

さて先週は、10月5日から7日まで下関で地区大会が開催され、我がクラブは40名の登録を得て参加してまいりました。登録者を確認しますと、地元のクラブを除けば我がクラブの参加者ももっとも多く、感謝しますと共に誇らしく思いました。ご多忙の中をご参加いただきました皆様に心から御礼を申し上げます。5日は地区内74クラブの会長・幹事会があり、久保豊年幹事と二人で参加し、水野会長年度のRI会長賞を受賞いたしました。基調講演では、RI会長代理の坂本俊雄氏による「ロータリーに魅せられて」という演題で講演がありました。夕刻にはRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が盛大に開催されました。その後、博多に移動して前日から参加頂いた会員の皆様と共に、美味しいもつ鍋を頂き、楽しい親睦の実をあげてまいりました。6日は下関で本会議が開催され、当日おいでの皆さんと合流して会議に参加いたしました。午前の部は10時から始まり、RI第3690地区の李 京夏総裁ご夫妻ご参加のもと、式典が滞りなく開催されました。個人表彰の部では、40年以上永年連続出席の岸本秀夫会員(44年)と山本忠男会員(42年)が表彰されました。おめでとうございます。昼食後の記念講演は(株)イエローハットの創業者で日本を美しくする会相談役の鍵山秀三郎氏から「掃除実践60年の『人生と経営の哲学』」と銘打ってお話を伺いました。掃除によって自らを磨き、ご苦労の後のうかがえる素晴らしい講演でした。午後の部では、「ロータリー活動の具体的事例発表と将来のロータリー活動」というテーマでパネルディスカッションが行われ、RIとロータリー財団の見解の相違など、考え方の違いが多々見られ、日本全国の地区の考え方を統一するべきであるという意見も出ておりました。未来の夢計画の実施年度を向かえ、まだまだ勉強すべきことが多いと思います。最後に、次年度開催予定の福山南RCからご案内をいただきました。次年度は福山での開催となりますので、ご報告申し上げます。最後の懇親会では、沖田ガバナーの宣言どおり、美味しい「ふく刺し」がたくさん出てまいりました。7日はゴルフ大会が開催されましたが、ご参加頂いた会員の皆様にはお礼を申し上げます。全体には、オープニングの演出や会場設営など努力され、素晴らしい大会であったと思います。ご参加頂きました全ての会員の皆様に、重ねてお礼を申し上げまして会長時間を終わります。

幹事報告

幹事 久保 豊年

\*例会終了後、長期ビジョン検討委員会を開催します。  
\*ローターの友誌(BOX 配布)

委員会・同好会報告

会報IT委員会 菅 会員

\*ローターの友誌10月号紹介

縦組 P24～P34『ローターネットワーク』

横組 表紙～P14『職業奉仕を考える』等

社会奉仕委員会 合田委員長

\*「広島いのちの電話」募金のお願い

野球同好会 中山会員

\*10/14広京会について

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【自主出宝】

庄子会員・泉会員・久保(豊)会員・東会員・越智会員 先月の地区大会並びに前日のインフォーマルミーティングに多数ご参加頂き、ありがとうございました。まだまだ行事が続きますが、ご協力よろしくお願ひします。

高原会員◇ 下関の地区大会は大変意義ある大会であり、思い出に残る会でした。皆様に感謝しています。

水野会員・増田会員・山内会員 皆様の御協力のお陰でRI会長賞を頂く事が出来ました。必須項目の達成が難しく受賞クラブが少なかった中での受賞で、喜びもひとしおです。ありがとうございました。

山田会員 20年の節目を迎えました。

鈴木会員 家内の誕生日に素敵なお花を送って頂き、ありがとうございました。本人も大変喜んでおりました。

山村会員 10月10日、本日は「目の愛護デー」です。皆様、目の健康に留意して下さい。

当日計 13,000円(内、web 5,000円) 累計 695,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

卓話

職業奉仕委員会担当

『これからのローターの職業奉仕のあり方について』

パストガバナー 岩森 茂 会員



■職業分類■

クラブの裁量に任されているが、1業種1ロータリアンの規則はゆるめられている(10%OK)

しかし、Businessでも Professionalでも時代と共に細分化、世界的に20万余に職種が拡大!!

■職業倫理とは■

1. 「超我の奉仕」(第1標語)  
自利と他利の調和を目指す
2. 「One Profits Most Who Serves Best」(第2標語)  
(He, He and She, They ⇒ One)  
(Profits ⇒ Benefits, rewards)  
4つのテスト(Four Way Test)  
このうちみんなにfair(公平)か ⇒ 公正でないかとの疑義もある

(ハーバード・テイラー)

■奉仕の理想(幹)→共存共栄■

社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕という枝や葉を通して、ローターの財産という花を咲かせる(元RI理事 Dr.渡辺好政)

■職業倫理の欠如を防ぐために■

近年、大企業の倫理欠如が大問題を起こしており(雪印食品、ミートホープ、JR北海道etc)、

事業の倫理的水準が理想に近づいている所では、ローターが最も栄える!!

地区大会報告

2013-2014年度、国際ローター第2710地区、地区大会が10月5日から7日の三日間下関にて開催されました。

初日の5日のシーモールパレスでは、RI会長代理を囲む歓迎昼食が催され、本会議の基調講演ではRI会長代理の坂本俊雄により『ローターに魅せられて』ローターは新会員とともに!という演題で語られました。

日韓姉妹縁組締結再調印式の後にはRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会、日韓交流パーティが開催されました。

続いて第2日目の6日は、海峡メッセ下関にて本会議が開催され、大会のスローガン「奉仕活動を見直そうー新しい奉仕活動への挑戦ー」の下、1,700人を超える参加者が語り合い、学びました。

記念講演では講師として(株)イエローハット創業者 日本を美しくする会相談役 鍵山秀三郎氏により、「掃除実践60年の『人生と経営の哲学』』と言う演題でお話を頂きました。

「凡事徹底」の信条で話された内容は、その人の主義と行動が迷う事無く一貫しており、全てのものを活かし尽くす事にあるようで、奉仕の精神に相通じることが多く、非常に勉強になりました。

記念講演に続いて「ローター活動の具体的事例発表と将来のローター活動」と言う事でパネルディスカッションが行われました。

沖田哲義ガバナーの「未来の夢計画」に伴う補助金の内容の説明と解釈について投げかけがあり、それについて下関RC、福山西RC、福山丸之内RCの奉仕活動の具体的事例に対しローター財団の見解を基にディスカッションが行われました。

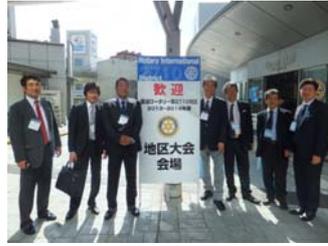
財団の見解について各パネラーのRC会長より「もっと使い勝手の良い助成金にして欲しい」との要望に対し、会場から多くの拍手が贈られた事が印象的でした。

表彰においては、団体表彰として当RCはRI会長賞を見事達成し、個人表彰では40年以上100%出席者の表彰で44年岸本秀夫会員、42年山本忠男会員と2名のすばらしい表彰がありました。これからはますますお元気に活躍される事を祈念致します。



記念撮影

## クラブ運営方針：愛と感謝と奉仕の心



前日博多でのインフォーマル・ミーティング(もつ鍋 幸)

### 比叡山延暦寺より

先月、京都での調印式の折り、伺った「比叡山延暦寺」においてご質問をされた会員がいらっしゃったようです。質問の内容はわかりませんが、「延暦寺」より回答を頂きましたので、ご紹介いたします。

#### 【回答】根本中堂

我々と本尊の間に3メートル程下がりました深い谷があります。

別名「修行の谷間」「煩惱の谷、煩惱の海」と言われております。これは、悲しいかな、我々には沢山の煩惱があって、その煩惱が、知らず知らずのうちにまとわりついて、ここに迷い込まぬ様に僧侶がお勤めされているのです。又は願ひ事が叶います様に一年中、欠かすことなくお勤めされています。

本尊と高さが同じという珍しい構造を「天台造り」又は「中堂造り」と呼ばれる。

● 一切衆生悉有仏生(イッサイシュジョウシツウブツショウ) 生きとし生けるものはすべて生まれながらにして仏となりうる素質をもつということ。

#### 季語の意味・季語の解説

枯れてひっそりとした冬の山にも、やがて春は訪れる。木々は芽吹き、草は萌え出し、山は瑞々しい命で満たされるようになる。

そんな春の山は、遠くから眺めると、おおらかさ、やわらかさ、そして艶やかさを帯びている。

冬の鎮まり落ち着いた印象からは一変している。

そんな山の様子を山笑ふと表現する。

春の山笑ふほかに、夏の山滴る(やましたたる)、秋の山装ふ(やまよそおう)、冬の山眠るも俳句の季語となっている。

これらは、いずれも中国の山水画家の郭照の言葉に由来する。郭照は、画論『臥游録』の中で、季節の移ろいに応じて、山をいかに描きわけべきか、次のように述べている。

春…山淡冶にして笑うが如く

夏…山蒼翠にして滴るが如く

秋…山明浄にして粧うが如く

冬…山惨淡として眠るが如く

どれも四季の山の様子を表現する上で、これ以上ない言葉が選ばれている。

以上



#### ■出席報告 出席委員会

2013年10月10日(木) 会員数 85名

出席 65名 欠席 20名

9月26日例会出席率 100%

9月平均出席率 100%

#### ■次回例会 2013年10月24日(木)12:30~

卓話 米山奨学委員会担当

「米山奨学生スピーチ」

米山奨学生 于 廉吉さん

食事 和食